

平成21(2009)年3月21日(土)

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹

http://www.nakayama-clinic.jp

人と技術に特許料を

総務 松井 正

去年の6月、若狭町での“あじさいマラソン”に参加するために大阪からやってきた友人が我が家で前泊した折、こんな話をしてくれました。彼は全国紙の大阪本社の記者ですが、今度の大阪府の知事、橋下氏には期待している。なぜなら、前々の知事ノック氏は芸能人なので、政治や経済、財政は分からぬから時には自腹を切って部下に飯を食わせてやる、そしておいて案件を部下に丸投げする。次の知事、太田女史は官僚出身だったから、大阪府の役人はツボを心得ていて案件の説明を上手にする。よって太田女史は丸飲みをする。こうして、丸投げと丸飲みで府民の税金を無謀に使い、先からの赤字を更に増大させた。今度の橋下氏はそんな本質無知や基本無能ではないから、きっと思い切った手術をしてくれるのではないか。というものでした。なるほど、トップが変われば下部から本体も変わる。あれから10ヶ月、彼が言った通り、大阪府は変わりつつあるようです。一方、アメリカのオバマ氏にもそれとおなじような期待が掛けられているのではないかと思います。

さて、技術の部分についてですが、最近の新聞で医療の分野で技術や知識に特許を与える方策を考慮中と言う記事を見ました。今までは薬品や医療機器(すなわち、形のあるモノ)には特許がありましたが、技術や知識にどんな特許?と不審に思われるでしょうが、例えば手術(オペ)にもいろんな方策があるようで、メスの使い方に独自な方法を編み出した人に特許を与える。また、知

識の分野では、抗ガン剤の与え方にも色々な方策があるはず。例えば患者の体重、体質、履歴などを数値化してどの薬とどの薬をどう混ぜて、どの時間にどの位投与するか。そして、どの症状の下にどう変えていくか。それは技術でもありますが、それらに最も効果を挙げる方策を編み出した人に特許を。と言うわけです。なるほど、と思います。そうなれば、先の橋下氏やオバマ氏が、もし、大阪やアメリカにメスを振るって見事な手術を施し回復させたなら何億、何兆円もの特許料を払ってもいいような気がします。何しろ、目下のWBCの原監督の契約は年収2億5千万円と言いますから、大阪やアメリカを救った人と技術に兆の金だって多過ぎやしません。

さて、日本の今の宰相は特許を取れる人なのか、そんな眼で見るとちょっと別の視点が現れるような気がします。人と技術が見えてくるようです。

話は変わりますが、ついでながら、かの新聞記者に、インターネットで「あらたにす」(aratanisuも可)で検索すると「朝日」「日本経済」「読売」の3社の新聞の読み比べができるということを教わり、以来、ずーとこれで3紙を読むのを楽しんでおります。(とっくにご存じの方は多いと思いますが…)。私の場合は夜中に目が覚める3時頃、仰向けに寝ながら胸の上に9インチのモバイルPCを置いて、LANでネットに接続、先ずは一面のコラムを手始めに、読み比べております。だから私は毎朝、誰よりも先に3紙を読んでいるのです。これじゃ新聞購読者が減りやしないかと心配しますが…。

スポーツはいいな

事務 柿本 礼子

昨年は北京オリンピック、今年は今、WBC(ワールドベースボールクラシック)、その後はサッカーワールドカップ、そしてバンクーバーの冬季オリンピックと、なにかとスポーツの話題に事欠きません。

TV観戦で熱くなってそのたびに「スポーツはいいなあ、カッコイイ〜、私もスポーツしなきゃ、走らなきゃ」と思うのですが…、その気持ちがなかなか継続しません。

“日本人はスポーツクラブへ車でわざわざ来てお金を出して歩いて

いる”と不思議がられているという話もあります。まあ、目的が同じ人が同じ場所に集まって運動するのがそれなりにテレもなく、楽なのですが、そう言われるとつい、「スママセン…」とうつ向きそうになります。でも基本は身近な運動で通勤や買い物くらいは車を使わずに済ませないといけませんね。

幸い、私は花粉症ではないので、この時期、歩いて季節を感じてみようかなと思います。この気持ちが永續しますように…。



院長家の愛犬セルティ2匹を訓練している城戸錦三氏。大正5年12月生まれ。

91歳。氏は小浜署の会計課勤務中、犬好きが高じて、警察犬の訓練士になり、福井県の訓練犬コンクールで優勝したこともありました。